

メダイの漁業・資源生態および資源特性値に関する研究

【研究概要】

八丈島周辺海域におけるメダイについて、漁獲状況、漁獲測定、加入・回遊経路調査等から資源生態の基礎的知見を収集し、制限量を推定する。

(1) 4～3月に計5回の試験操業を行い、漁獲水深および水温データを計96(黒潮外側域)収集した。また、2月13日および3月5日に漁船を用船し、漁獲時の水温水深データを収集した。

(2) 八丈島周辺で漁獲した108尾および大島事業所より提供のあった43尾のメダイについて、精密測定を行った。また、漁港にて106尾のパンチング測定を実施した。

(3) これまで得られた耳石切片を用いて、査定基準を改め年齢解析を実施した。年齢査定結果からAge 銘柄 Key を作成し、これをもとに年別年齢別漁獲尾数を算出した。

また、たくなんにて採集したメダイ幼魚15尾の耳石微細輪紋を計数した。輪紋を日周輪と仮定して解析した結果、推定ふ化日は概ね12～3月の間であった。

(4) 3～5月に計7回の流れ藻調査を実施し、メダイ幼魚を16尾採集した。

(5) 8～3月に123尾の標識放流を実施したが、再捕報告は得られていない。